

令和1年9月10日

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しています。

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しています。

この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究課題名	「ギャンブル障害者の心理的ストレス・運動習慣・身体機能に関する横断研究 -健常者との比較検討-」
研究責任者 所属・氏名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 医務局 入来 晃久 (研究代表者：京都橘大学大学院 健康科学研究科 大村颯太)
研究概要	(目的) ギャンブル障害者における心理的ストレスや運動習慣、身体機能の特性について把握する。さらにギャンブル依存性の重症度と各項目との関連性を検証する。 (意義) 今回の研究によってギャンブル障害者における心理面・身体面の影響を把握できれば、ギャンブル障害者に対して運動指導などを行うことは本邦における将来的な医療費抑制等に繋がることが示唆される。 (方法) 大阪精神医療センター外来通院中ギャンブル障害と診断された20歳以上の方で研究内容について説明を行い同意の得られた方を対象とし、年齢、性別、BMI、既往歴と、ギャンブル障害の重症度、身体活動量、ストレス評価、筋力、柔軟性、持久性、姿勢分析を行う。
研究協力者	大阪精神医療センター外来通院中ギャンブル障害と診断された20歳以上の方
研究実施期間	2019年9月1日～2021年3月31日
研究計画書などの研究 関連資料の入手方法、ま たは閲覧方法	本研究の研究協力者等が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究協力者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。以下の問い合わせ先にご連絡ください。
個人情報の保護の方法	個人情報保護について、得られたデータは本研究の目的のみの使用とし、そのデータは厳重に管理する。なお、個人情報は連結可能匿名化を行い、保存期間は5年間とする。データ保存期間終了後は、データ保存媒体を解体した後速やかに破棄する。
個人情報の開示に係る 手続き	下記、問合せ先に連絡ください。
問合せ先	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 医務局 入来 晃久